

■ 機関紹介 ■

会社概要

(株)カネカテクノロジーは、鐘淵化学工業(株)[現(株)カネカ]の関連会社(株)関西分析技術センター、(株)カネカリサーチが合併し、さらに鐘淵化学工業(株)[現(株)カネカ]中央研究所分析部門を統合し、会社が設立された。

カネカテクノロジーは、環境分析、材料分析、調査の3部門で、さまざまな分析・評価、調査のニーズに対して高度な機器群と高度な分析技術、豊富な経験を駆使して、お客様が求める新たな技術と情報を常に求められる形で提供している。その領域は時代とともに進化し広がり続け、産業の発展、よりよい自然環境づくりに貢献している。

沿革

昭和51年8月 (株)関西分析技術センター設立

昭和51年9月 計量証明事業登録

昭和52年9月 作業環境測定機関登録

昭和63年8月 鐘淵化学工業(株)[現(株)カネカ]の関連会社(株)関西分析技術センターと(株)カネカリサーチが合併し、さらに鐘淵化学工業(株)[現(株)カネカ]中央研究所分析部門を統合し(株)カネカテクノロジー設立。

平成12年11月 本社移転に伴い、各分析部門を環境分析センター、材料分析センターとして統合

平成13年2月 ISO 9001-2000 認証取得

平成14年10月 特定計量証明事業登録

平成15年1月 土壤汚染対策法による環境省指定機関登録

業務内容

1. 高度な測定技術で環境の保全と改善に貢献する環境分析

作業環境、ダイオキシン類、土壤汚染調査、PCB、底質、アスベスト、環境ホルモン、バイオアッセイ(DR-CALUX法)、加熱発生ガス、室内空気環境、建築物飲料水、大気・悪臭・排ガス、微量有害金属、水質、騒音・振動、産棄物・ごみ質、POPS農薬

2. 極限を読み解き産業の進化を支える材料分析

高分子材料、電子材料、ファインケミカル、シックハウス放散試験、WEEE/ROHS対応、形態観察、構造解析、製品欠陥・異物

3. 情報をとらえ情報を生かす技術を提供する調査環境技術コンサルティング、新材料開発コンサルテ

インク、技術調査・解析、情報検索代行サービス 業務体制

当社は環境分析部門、材料分析部門、調査部門、業務部門で構成され従業員は約100名超。このうち作業環境定士20名、環境計量士14名のほかに技術士、公害防止管理者、臭気判定士等多数の資格者が業務に対応している。

作業環境測定実施状況

主要な測定依頼先は(株)カネカおよび関連会社と自治体、民間企業である。平成16年度の測定内容の内訳は、有機溶剤62.5%、粉じん18.8%、特化物12.5%、金属6.3%である。これ以外にダイオキシン類の作業環境測定を多数実施している。

特色

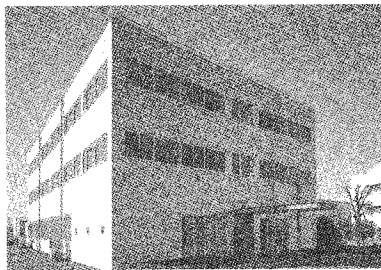
環境部門においては、人体や環境への影響が心配される極微量有害物質の分析が当社得意とする領域である。高分解能GC/MSによるダイオキシン類、PCBS、臭素化難燃剤多環芳香族、有機塩素系農薬などの極微量分析を行う。生物細胞を用いるバイオアッセイ(DR-CALUX法)によるダイオキシン類の簡易分析も行う。

材料分析部門においては、新素材の開発、トラブル処理、品質保証、シックハウス症候群関連分析、有害物質使用規則に関するグリーン調達関連分析、ナノテクノロジー分析などあらゆる分析課題に対して、最新鋭の高性能機器群を駆使しながら高感度・高精度の分析を豊富な経験と高度の技術力で対応している。

調査部門は当社ならではの技術力、ネットワーク力、人材力を屈指して情報を調査・提供し情報の活用方法を幅広く提案している。当社は機密厳守を第一に迅速・確実に顧客の皆様の問題解決に当たっている。

おわりに

顧客満足度の高いサービスの提供、高水準の品質の実現と信頼性の維持向上によって、質的に一流と社会に認められる知的で健全な会社を作るとの品質方針に従い業務に取り組んだ結果が、平成16年度精度管理優良機関表彰に結びついたと考える。今後さらにデータの精度管理、品質管理のシステムを整えて、社会的責任を認識のうえ公正かつ適正な業務の運営に邁進したい。



株式会社
カネカテクノロジー